

# えどがわ 区議会 だより

令和4年第3回定例会号



発行  
江戸川区議会



<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

江戸川区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

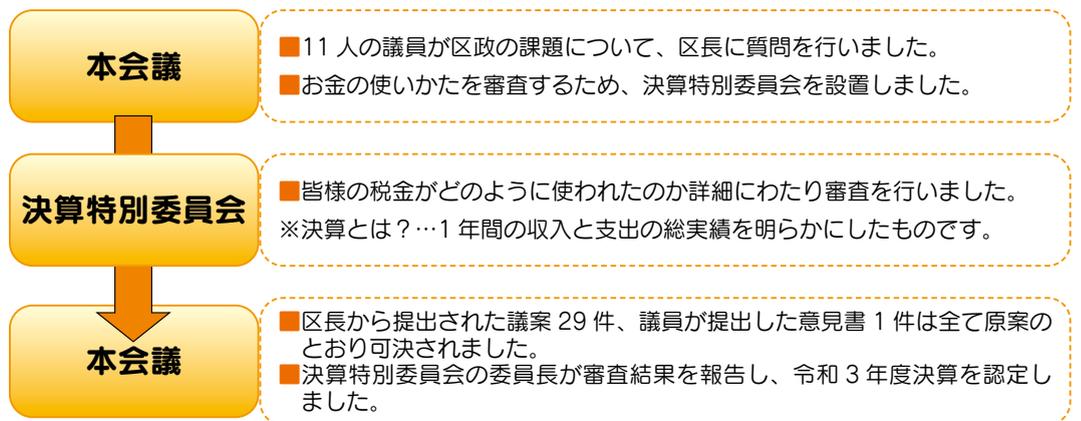
## 令和3年度 決算を認定 ～お金の使いかたを審査しました～



決算特別委員会の様子

令和4年第3回定例会は9月14日から10月25日までの42日間の会期で開かれました。

### ～定例会・決算審査の流れ～



この定例会の会議録は、1月下旬にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。

## 決算特別委員会で審査された令和3年度の主な事業

**経営企画費** 企画調整に関する事務 244万1千円

### 「2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）」の策定

「誰もが安心して自分らしく暮らせるまち」の実現に向けて、江戸川区が目指す2100年の姿を描く「2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）」を策定するため、区民からの意見募集、オンラインミーティング、ワークショップを行った。

**健康費** 母子保健 7億8,821万5千円

### 妊婦全数面接事業

妊娠届出時の面接で、状況把握や相談、子育て支援サービスの紹介や支援が必要な場合に継続支援を行った。また、子育てに役立つものを購入できるぴよママギフト（子ども夢商品券9,500円分）を配付した。



**子ども家庭費** ベビーシッター利用支援事業 850万6千円

### 一時預かり利用支援

リフレッシュ等で、一時的にベビーシッターによる保育を必要とする保護者への利用料を一部補助した。（令和4年1月より）



**環境費** 気候変動対策及び啓発に関する事務 1,109万2千円

### 気候変動適応センターの設置

気候変動への対策を「自分ごと」として捉え、取り組みを本格化させる必要があるため、都内では初、全国の区市町村では3番目に「江戸川区気候変動適応センター」を令和3年4月1日に設置した。

**福祉費** 生きがい施策 3億6,425万1千円

### 「みんなの就労センター」への助成

年齢や性別、障害の有無等に関わらず、就労意欲のある人が個々の能力に応じて、能力を発揮できる就労の場の確保及び提供を目的としたみんなの就労センターを支援するため、運営費助成を行った。

**教育費** 学校教育の情報化に関する事務  
小学校 12億3,637万3千円  
中学校 5億3,195万4千円

### ICT支援員による活用支援

ICT活用の推進のため、専門知識を有するICT支援員が週1回学校訪問し、授業支援、操作支援など教員及び児童・生徒へのICT活用支援を行った。



**都市開発費** 公共交通調整 3,002万3千円

### コミュニティ交通実施方針検討

上一色・興宮町・小岩周辺地区をモデル地区として、コミュニティ交通導入の検討を行った。



**土木費** 土地区画整理事業に関する事務 6億4,251万7千円

### 上篠崎一丁目北部地区

高規格堤防整備及び都市計画道路補助第288号線、都立篠崎公園の再整備などの各事業について、関係機関と協議・調整を図った。第一次移転については造成工事が完了し、17権利者へ仮換地の引渡しを行った。第二次移転については仮換地指定を行った。

## 区政への質問

9月20日に代表質問、21日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

### 代表質問



#### 世代を超えて輝く未来 笑顔子育て・安心のまち

自由民主党  
早川 和江



**問** 令和3年度決算を総括しての評価と、令和3年度予算編成に向けた、区長の見解は。

**答** 経常収支比率が適正範囲の75.5%であり、財政は良好といえるが、今後の公共施設の建て替えや、景気の変動や災害への備えも必要であり、今のうちに将来への備えをしていきたい。様々な区民ニーズに応えられるよう、基金の計画的な積立て、適正な範囲で借金を取めて、健全財政を堅持できる予算編成を議員の皆様とつくりあげていきたい。

**問** 誰もが安心して自分らしく暮らせるまちの実現に向け取り組みを進める中、熟年者や障害者等の個別条例制定について、区長の見解は。

**答** 理念条例は必要と考えており、これからもつくっていききたい。理念条例ができた後は、事業計画を体系化した中で区政を前進させていく。

**問** 子育て支援の取り組みについて。

①物価高騰で厳しい状況にある子育て家庭への支援のため、小中学校での給食費の無償化を。  
②町会、自治会のデジタル化の推進について。  
③すすくすくスクールで子どもが高齢者にデジタル機器の使い方を教える等、新しい交流づくりとして「スマホお助け隊」を設置しては。



#### 小中学校の給食費の無償化について

**答** ①児童生徒数が多く、その分お金がかかるため、財政の健全化と継続性を考えて、様々な角度から議論を重ね検討を進めたい。

②鹿骨地区の自治会連合会がタブレットを購入し、ICTの講習会を実施している。町会自治会の更なる活性化のために、デジタル化の推進を支援していきたい。

③子どもと高齢者の双方向の交流にもなるため検討していきたい。

**問** 育児休業制度の改正について、区民に内容を正しく知ってもらうために、どのように取り組みを進めていくのか。

**答** 制度改正の内容や様々な支援メニューについてしっかり知らせていき、男女問わず協力して育児を行う環境と、企業も含めて地域全体で子どもを育てるという風土をつくっていききたい。

**問** 18歳成人を見越した中学生での金融教育のあり方について、教育長の見解は。

**答** 外部機関と連携した出前授業を行っている学校もある。今後も外部機関等と連携し、子ども達が正しい知識を身に付け、自立した消費者として責任ある行動がとれるよう金融教育に力を入れていきたい。

**問** 本区の積立基金運用に際しSDGs債を積極的に活用することで、SDGs推進区であることの理解と意識を高め、広げていくべき。

**答** SDGs債を購入した際の基金運用は、安全でできるだけ有利な預金債権を選択するという考え方になっている。ホームページで投資表明を積極的に行うことで、SDGs推進の機運を醸成したい。今後もSDGs債を積極的に活用する。

**問** マイナンバーカードの普及促進に向けて、今後どのように取り組んでいくのか。

**答** 行政手続きの電子化と区民の利便性の向上を図るうえで有効であるため、今後もきめ細やかな申請機会のサポートを行い、カードとの利活用の拡大にも取り組んでいく。

**問** 給付金や補助金等の誤支給事故を起こさないために、公金支出の内容の整合性のチェック等、事故防止にどのように取り組んでいくのか。

**答** 区で発生した誤支給事故を踏まえ、制度を知る様々な研修体制と、委託事業者による仕様変更時のチェック体制をしっかりとやっていく。現在、DX推進課で積極的に支援の強化体制を構築しているところであり、全庁を挙げて取り組み、今後も徹底していきたい。

**問** 電力需要ひっ迫対策として、冬を迎えるにあたり、区民にどのように節電・節ガスを呼びかけていくのか。

**答** ホームページやSNS等あらゆる手段により広く呼びかけたい。区施設においては掲示物や館内放送で、不要な電力消費の削減と暖房の適正温度のお知らせ等を徹底していく。



#### 学校給食費無償化へ！誰一人取り残さない共生社会を！

公明党  
田中 じゅん子



**問** 令和3年度決算の分析と来期への決意を。

**答** 財調交付金が歳入の柱である。今後も議員の皆様と協力し区民生活を守りたい。

**問** 2100年に向け、区長の平和への思いを。

**答** 映画に「戦争ほど悲惨で残酷なものはなく、戦争そのものをなくすべき」という言葉があるが、私自身もその考えを持ち続けていきたい。

**問** 新型コロナウイルス感染症対策について。

①オミクロン株対応ワクチン接種体制と周知は。  
②5歳から11歳への周知と接種状況について。  
③新型コロナとインフルエンザのワクチン接種のスムーズな接種体制について。

④感染者の全数把握見直しによる周知と対応は。  
⑤区民の経済活動の活性化や区内事業者支援は。

**答** ①チラシの全戸配布等で丁寧にお知らせを行い、希望者が年内に接種できる体制にしたい。  
②本区の接種率は約12%強である。副反応等の情報もホームページを通じて周知していく。

③高齢者へのインフルエンザ予防接種費用補助や、同時接種できる医療機関をお知らせする。

④陽性者登録センターへの登録や急変した際の24時間受け付けるセンター等を知らせていく。

⑤引き続き、国や都の経済対策を活用し、積極的に区内産業を応援していきたい。

**問** 区立小中学校の給食費の無償化について。

**答** 様々な意見を聞きながら検討したい。

**問** 流域治水の推進について。

①荒川・利根川流域治水全般の推進について。  
②国の「流域治水ケタ違いDXプロジェクト」のワンコイン浸水センサーの活用について。

**答** ①関係者が自分事として捉え、気候変動に適應する水害のない安全安心なまちにしたい。  
②5つの市と町による実証実験の成果を見たい。

**問** SDGsの更なる推進について。

①「SDGsアプリ」開発の進捗とスケジュールは。  
②「SDGsビジョン」と絵本「クワガドーエのお客さん」の配布先と活用は。外国語版も検討を。  
③小中学校の子ども達が行動しやすい手立てを。

**答** ①今年度中に開発を完了させ、テスト運用をした後、早期に運用開始を目指す。

②公共施設等524か所に配布し、学校の授業、イベント等で活用する。英語版も作成中である。

③SDGsえどがわ10の行動を活用し、児童生徒が自分事として学び行動する力を育みたい。

**問** 廃プラスチックリサイクルの推進について。

①分別方法の周知について。  
②容器包装以外の廃プラスチック回収について。  
③自販機リサイクルボックス内の異物低減を。



#### 廃プラスチックリサイクルの推進について

**答** ①民間事業者と連携し周知を徹底していく。  
②環境省のモデル事業に本区が選ばれたため、このモデル事業の中で具体的に検討したい。

③異物混入できないボックスが順次設置される。今後も各メーカーや都と連携し、周知していく。

**問** 带状疱疹のワクチン接種費用の助成検討を。

**答** 国の審議会で安全性等を議論している。他自治体の動向も含め、議論内容を注視したい。

**問** 東部・篠崎地域の諸課題について。

①東部地区沿川まちづくり基本構想について。  
②篠崎高台まちづくり検討状況と区長の見解は。

**答** ①沿川まちづくり勉強会を実施しており、将来世代に負担がないよう議論していく。

②今年度は都県橋の先行整備が可能な計画を検討している。地元の理解と協力を大切にしたい。

ネーミングライツの展望は？  
副区長は民間からの登用を

江戸川クラブ  
ます 秀行

**問** 自ら稼げる自治体に向け「新たな財源」という視点を。

①ネーミングライツやデジタルサイネージ事業に対し、どのような展望を持って取り組むのか。

②葛西臨海公園の財源化について、部分的にでも区が公園運営を行う等、更なる検討と研究を。

**答** ①両事業にあたっては、区民の理解を得ながら新たな自主財源の確保を着実に実現したい。

②民間のアイデアも含め、魅力の向上とともに様々な形で区ができることを追究したい。

**問** 施策実現に向け柔軟な人事を。

①3人目の副区長を民間登用しては。

②組織を持たない特命担当部長を設置しては。

**答** ①提案の趣旨も踏まえ、人事に関しては今後も適材適所で行っていく。

②必要性があれば、制度を活用していきたい。  
**問** 友好都市・姉妹都市・交流都市の在り方と今後の展開について。

- ①都市交流について一定の指針を示しては。
  - ②今後の展望とインドとの交流について。
- 答** ①明文化ではなく、盟約書の中で謳っていくが、これでいいかは十分議論していきたい。  
②区内には多くのインドの方々がいるため、考えや話も聞きながら、交流を進めていきたい。

**問** 衰退する地域まつりや盆踊りとの向き合い方について。

- ①お祭りや盆踊りを取り巻く環境が厳しくなる中、区はどのように関わっていくか今後の見通しを。
- ②イベント等の騒音クレームへの対応について。



衰退する地域まつりや盆踊りとの向き合い方について

- 答** ①担い手不足等の危惧について、地域の方々と今後もよく話し、お祭りを大事にしたい。  
②両者の間に区が入って妥協点を探っていく。
- 問** 区営墓地の需要調査と開設可能性の検討を。
- 答** 関係者から話を伺い、需要は満たされていると考える。

**問** 児童文学館の運営について。

- ①収支見込みとスタジオジブリ側との状況は。
  - ②隈研吾氏の魅力発信について、区の見解は。
- 答** ①入場料等は民間から提案をいただく中で進めていく。スタジオジブリ側にはアプローチをしており、効果的な協業の手法を追究したい。  
②隈研吾氏の作品であることを強く広報したい。
- 問** 商品券まつりの商品券デジタル化について。
- 答** 商店会の皆さんとよく相談していきたい。
- 問** 職員が働きやすい新庁舎の計画について。
- 答** 若手職員に検討させており、職員にとっても快適で機能的な空間を目指していく。

**国葬の半旗反対、コロナ禍から命を守れ、総体残して**



日本共産党  
小俣 のり子



**問** 安倍元首相の「国葬」と江戸川区の対応について。

- ①国会に諮らず閣議決定で決めたことについて。
  - ②半旗掲揚は区民への弔意強要に繋がるのでは。
- 答** ①②国が定める内容のため、コメントする立場にはない。国葬当日の対応は熟考している。
- 問** コロナ感染症から区民の命と暮らしを守るために。

- ①発生届対象者以外の区民への支援について。
- ②予想される第8波とインフルエンザ同時流行時の医療体制、ワクチン接種体制について。



インフルエンザとのワクチン同時接種について

- ③保健所の体制強化と保健師等の増員について。
- ④以前のような「感染者発表の公表」のホームページへの掲載と分かりやすい広報について。
- ⑤都のPCR等検査無料化事業の拡充と、陽性者登録センターでオンライン診療と薬の処方、

また、有症者への検査キット配付と陽性者登録センターの周知徹底について、都へ要望を。

- ⑥低所得世帯へ給付金と学校給食費の無償化。
- 答** ①都と連携し、引き続き区民が安心して療養できる体制を維持していく。  
②214か所の区内医療機関でワクチン同時接種が可能であり、国や都の取り組みも踏まえ、区医師会と連携して安心な医療体制を維持する。  
③保健所の職員体制は業務量に応じて確保する。  
④発生届の全国一律見直し以降の公表の仕方について検討中である。適切に広報で周知する。  
⑤無料検査場所は延長の実施が決定されており、陽性者登録センターでも診療等対応している。区ホームページで抗原定性検査キット事業等の情報提供をしているため、都に要望は行わない。  
⑥国の措置も踏まえ必要な対策を総合的に講じる。給食費無償化は財政状況を踏まえ検討する。

**問** 総合体育館について。

- ①公共施設再編整備計画の検討状況について。
  - ②計画立案にあたり施設利用者へアンケートを。
  - ③現在の場所にスポーツ施設として存続を。
- 答** ①全区的な大規模施設の配置方針、地域の身近な施設配置のパターンの中で検討している。  
②令和3年にアンケートを実施したため、その結果をこれからの再編整備に活かしていきたい。  
③利用実態に基づき今後のあり方を考えたい。

一般質問

**未来を支える子どもたちと、ともに生きるまち**



自由民主党  
斉藤 つばさ



**問** 気候変動適応策について。

- ①国の削減目標改定に伴う、第2次エコタウンえどがわ推進計画の見直しについて。
  - ②カーボンニュートラルに向けた家庭や各事業者への呼びかけについて、区長の見解は。
- 答** ①12月策定予定の気候変動適応計画では、国の目標値を上回る設定をし、具体的な削減手法と数値目標も掲げていく。脱炭素社会の実現に向けてオール江戸川で取り組んでいきたい。  
②区民によるえどがわ気候変動ミーティングでアクションプランの協議をしている。今後も区民と事業者が一体となり自分事としてカーボンマイナスに向けて取り組んでいけるよう、あらゆる媒体と手段を使い、計画の周知を進めたい。

**問** 太陽フレアが発生し通信や電力供給等に障害が発生した場合、情報等を区民に知らせる手立ては。被害を最小限に抑えるための対策は。

- 答** 甚大な被害をもたらすため、災害リスクを区ホームページ等で知らせていく。太陽フレアが発生した場合、国からの情報を速やかに発信し被害を最小限に抑える手立てを講じていきたい。
- 問** 不法投棄をさせない、より一層の対策を。
- 答** 頻繁に不法投棄される場所には、町会等と連携し周辺の見回りや防犯カメラの設置等、制度に則り対策する。不法投棄行為者が特定した場合は警察へ通報する等、総合的に対応したい。

**問** 公園空白地域の解消へ向けて、今後どのようなアプローチをしていくのか。

- 答** 町会自治会や不動産業界との連携や、ホームページ等で用地売却の相談受付を行いたい。空白地域の調査も行い、多方面からの情報提供で、

公園用地の取得を目指していきたい。

**問** 学校の夏季休業期間見直しについて。

- ①見直しに至った背景と目的、その効果とは。
- ②子どもの学力や体力向上に今後どのように取り組むのか、教育長の見解は。

- 答** ①学習指導要領改訂や若手教員の増加で、教員の指導力が求められる中、教員の研修機会や授業準備時間の確保のため見直した。教員の指導力向上とともに、児童生徒の学習意欲の向上、体験活動が増える効果が期待できる。  
②見直しにより生み出された1週間を有効活用し、教員が工夫を凝らして質の高い授業を展開することで、子ども達の学力・体力を身に付けさせていく。また、学校長には自校の学力と体力の詳細なデータを示し、改善と更なる向上に向けた具体的な方策を実践するようにしていく。

**問** ホノルル市と姉妹都市盟約を結んだ今後の展望について。

- ①SDGsFESinEDOGAWAと同日同会場で行われるホノルルフェスティバルは、どのようなイベントになるのか。
- ②ホノルル施設での区民優遇制度と全日本フラダンス大会誘致の進捗状況について。
- ③青少年の翼事業での国際交流について。
- ④アロハデー実施の所感と来年度の展望は。

- 答** ①五感で感じハワイ文化に親しみ、多様性の進んだホノルル市を知ることで、本区の共生社会の推進も合わせて目指したい。ステージ、ワークショップ、ハワイ歴史の展示等行うが、感染症対策もしっかり行い、安全安心に開催する。  
②歴史的文化的施設の入館料が割引になる仕組みを構築中である。全日本フラダンスコンテストは令和5年3月開催を予定している。姉妹都市盟約締結を全国的にPRする機会にしたい。  
③子ども達や青少年が互いに文化を理解する機会、国際感覚を身に付ける機会として、前向きに取り組んでいく。  
④職員や区民からも概ね好評だったと感じている。マスメディアにも取り上げられ、ホノルル市との姉妹都市盟約のPRにもなったため、来年度も取り組みたいと考える。
- 問** 区長定例記者会見で発信した情報を、区の広報媒体を活用して広く区民に知らせては。
- 答** 技術的な問題はあるが、将来的には、リアルタイムの中継ができるように検討したい。

**不登校対策の充実。一人に寄り添う施策の充実を**



公明党  
伊藤 てる子



**問** 「ともに生きるまちを目指す条例」制定に伴い、熟年者や認知症の方、その家族を支えるための基本理念を示す条例制定について。

- 答** 共生社会実現に向け、認知症の方も含めた様々な状況の熟年者への条例制定は、区民の理解を深める意味においても重要と考える。どのような形で条例化するか、準備を進めている。

**問** 上一色、興宮町、小岩周辺地区のコミュニティバスの本格運行の実現を。

- 答** バス停追加や障害者割引導入等で利用者数増加を図るとともに、実証運行を来年6月まで延長し、様々な可能性を検討し取り組んでいく。
- 問** 公文書や申請書類、広報等をより多くの区民に正しく理解してもらえるように「やさしい日本語」のより一層の普及を図るべき。

答 本年8月に多言語による情報提供ガイドラインを改定した。今後は外国人、熟年者、子どもにも分かりやすいやさしい日本語を活用した情報発信に努めたい。

問 遺族に寄り添い、相談や手続き等の案内を行う専門窓口「お悔やみコーナー」の設置を。

答 本庁舎移転の前に設置できないか、現場サイドで検討を進めている。

問 今日までの「江戸川区みどりの基本計画」による成果と課題、また、改定スケジュールとその方向性について。

答 区民1人あたり10本の樹木数を達成した。身近な公園の充足率の増加等、4点の成果が出ている。一方で、農地の減少が課題であり、農地を買収し農業公園にする等みどりの確保に努めたい。本年度より2年かけて改定委員会で進め、課題解決の方向性や考え方を示す内容にしていく。

問 住居表示実施100%に向けた取り組みを。

答 実施要望等、地域の声も伺いながら区内100%実施に向けてしっかり取り組んでいく。

問 不登校児童・生徒への支援について。

①これまでのタブレットを活用した支援と、これから区全体でどのように進めていくのか。

②誰一人取り残さないため「不登校改善学校支援システム」等による適切な学びの場の確保を。

③ボランティア活動や農業等の体験学習の更なる推進を。

答 ①自宅等でオンライン授業動画による学習を推進している。松江第一中学校が都の指定校として研究のため、先進校の実践事例を研修会等で紹介し支援を進めたい。

②今年度は不登校児童生徒へのアンケート調査を実施し、子ども達のニーズを把握したうえで今後の支援に繋げる取り組みを進めている。教育研究所の課題についても検討していく。

③今後も体験的な学習の機会を確保していく。

問 教員の負担軽減について。

①中学校の部活動の地域移行について、そのスケジュールと、どのように進めていくのか。

②タブレットを活用し、保護者との連絡システムを導入しては。

答 ①令和5・6年度は、区の連盟等の協力により、休日の部活動の地域移行に向けた体制を整え、外部指導者が指導を行うことで教員の負担を減らしていく。今後も国や都の動向を注視し、生徒達の部活動の場を整えたい。

②より良い方法について引き続き学校と協議する。

**命を守るために必要なことは…ママ視点で問う**



江戸川クラブ  
小林 あすか

問 自分や周りの人を守るための包括的性教育の必要性と性や体の知識に対する情報提供について、区の見解は。年齢性別を問わず、正しい知識や情報を得られる場所が必要と考えるが。

答 乳幼児期には保育園、小学校では体育の授業、中学校では保健体育の授業で、適切な行動や感染症予防を学び、児童相談所では一時保護所の中で職員が性教育の学習を行っている。幼児期からの普及啓発や実践について、今後も関係者や関係機関と連携しながら進めていく。

問 送迎バスの幼児置きざり事故を受けて。

①事故を受けて、本区では事故防止のためにど

のような対策をされたか。各園の状況も踏まえて、子ども達にとって安全な環境を作るべき。

②園や施設での外遊びや課外活動時に、見落としからの置き去りも想定される。危機管理マニュアルや学校安全計画の適宜改訂や見直しはどのように行われているのか。置き去り防止のための対策は。

③車内で助けを求める時の対応として、クラクションを鳴らすことやドアロックの解除等、子ども自身で命を守る体験や練習をさせる場を。

答 ①各園に対して注意喚起や安全対策の再確認を要請している。現在、全園の緊急点検を実施しており、今後は全園に向けて区が実施調査を行う予定である。また、10月までには国による安全管理マニュアルが示されるため、安全対策について周知徹底を図っていく。

②区立幼稚園では、教育委員会担当者とマニュアルを確認、安全管理体制の協議を随時行い、体制強化を図っている。保育施設等でも各園の実態に合わせてマニュアル等を整備し、適宜見直ししながら実効性を持って運用している。

③安全確認を徹底したうえで、先事例を参考にし、各園長と良い方法を考えたい。区立幼稚園でも保護者を交え、命を守る対応を考えたい。

**統一協会と関係断絶を、平和を次世代へ、公園空白解消**



日本共産党  
牧野 けんじ

問 統一協会（現・世界平和統一家庭連合）と江戸川区の関係について。

①統一協会や関連団体からの寄付受領やイベントへの後援等について徹底した調査を。

②今後関係を一切持たないと改めて表明すべき。

③統一協会等の靈感商法による被害や2世信者への対応は。国の相談窓口等の広報での掲載と、区でも相談窓口を設置しては。

答 ①保存文書や作業文書を遡れる限り調査したが、該当する事案はない。

②当面、寄付受領等、一切関係を持たない。

③消費者センターで受け付けており、弁護士の紹介等案内をしている。国の相談窓口は周知を図り、区としても消費者センターをはじめ、それぞれの相談窓口で相談を受けていきたい。

問 平和関連事業の更なる充実について。

①今後の施策充実への基本的な考え方と、計画や方針を定量的な目標も含めて持つべきでは。

②空襲や被爆体験の証言等、次世代に伝承するため、広報、動画等も活用した支援の強化を。

答 ①本区の平和都市宣言が基本的な考え方である。今後の対応は2100年に向けて共生社会ビジョンを作成しているため、そのアクションプランの中でどう展開するか検討したい。

②引き続き、区内団体と協力・連携し、区で何ができるか、団体の声も聞いて進めていきたい。

問 災害への備えについて。

①水害時の垂直避難先の確保と更なる周知を。

②地震時の都の避難場所の変更等を区民へ周知すべき。また、小岩地区での公園空白域解消を。

③家具の転倒防止ボランティア事業の拡充を。

④災害時要配慮者に自動起動式防災ラジオを。

答 ①垂直避難せざるを得ない場合もあるため、現在20団体と協定を締結しホームページ等で周知している。引き続き、広域避難を推進したい。

②都の見直し適用後、ホームページや防災アプリ、

広報えどがわへの掲載や、現地の避難場所標識には張り紙を行っている。今後も区民に分かりやすく早めの知らせを心がけたい。

③実態を踏まえて協議会の方々と相談したい。

④スマホの防災アプリで自動起動式防災ラジオと同様な機能を持たせられないか検討している。

**香害、戦争を伝えること、男女共同参画推進計画**



生活者ネットワーク  
伊藤 ひとみ

問 香りだけでなく、マイクロプラスチックの排出源となる「香害」の情報の周知・啓発を。

答 啓発ポスター等を活用し周知していく。

問 「語り部」の養成、市民と協働で平和記念展示室の活用及び学校での平和教育を。

答 活動団体に意見を聞き、PRにも努め、子ども達が体験的に学ぶ取り組みを進めていく。

問 「人権・男女共同参画推進センター」は「ともに生きるまちを目指す条例」を考慮した中心的役割であるべき。また、学校においても人権教育や男女平等教育の推進を。

答 役割は時代に合わせて行う。全庁を挙げ施策を展開し、学校では今後も様々な活動を通して子どもの資質、能力を育む。

**再編整備される学校体育館は、もっと大きい方がいい**



えどがわ区民の会  
金井 しげる

問 庁舎5階の食堂閉店に伴い、食堂に代わる対応について、区長の所見は。

答 本庁勤務とそれ以外の職員とのバランスや、職員の意見等も聞きつつ考えていく。

問 改築中学校の体育館整備について、スポーツ施設として区民利用も可能な再編整備を。

答 費用対効果や教室の確保等を考えると厳しいが、今後様々な観点から研究していきたい。

問 花火大会での有料観覧席導入を検討しては。

答 これからも持続可能な花火大会とするために、提案内容を含め、最適な方策を探っていく。

問 個人宅への防犯カメラ設置補助について。

答 引き続き公道への防犯カメラ設置を進め、個人宅への設置は自助でお願いしたいと考える。

**人にやさしいまちにしよう 区長は住民自治を大事に!**



無所属  
滝沢 やすこ

問 区長と区職員の情報共有をしっかりと行い、風通しのよい江戸川区役所を。

答 重要であるため、しっかり認識をしていく。

問 学校の校則見直しの進捗と、学校選択の参考にできるようにホームページで公開を。

答 児童生徒、保護者、地域から意見を聞いて見直した校則は、今年度2学期末までに学校ホームページで公開するよう依頼をしている。

問 新型コロナウイルス感染症の後遺症について、広く関係機関等に理解を求めていくべき。

答 今後もホームページ等で、後遺症の適切な支援や理解に繋がる情報提供に努めていく。

## 決算特別委員会

決算特別委員会は、9月26日から10月11日までの間の8日間にわたって、一般会計と3特別会計の各決算について、皆様の税金がどのように使われ、計画的かつ効果的に執行されたか、慎重に審査を行いました。(委員名簿は8ページ参照)

委員会での審査を踏まえ、10月25日の本会議で採決の結果、令和3年度各会計歳入歳出決算は、賛成34・反対5で認定されました。

### 本会議での令和3年度各会計決算に対する賛否

賛成	反対
自民・公明・江ク・生ネ・区民・無所属	共産・無所属

## 決算特別委員会における各会派の意見

### 自由民主党



いまだ新型コロナウイルス感染症の変異株の影響が残るが、引き続き健全財政を維持し誰一人取り残さず、ともに生きる社会実現のため施策を力強く進めていることを評価し、令和3年度各会計歳入歳出決算に賛成する。

#### 【主な要望】

- キャッシュレス収納は、区民の利便性向上や接触リスク低減の取り組みを更に進めること。
- 区の預金である基金について、SDGs債を買い入れていることを区民にPRし、区と区民が一緒になってSDGsを推進すること。
- 児童相談所運営の事業や今後の18歳までの医療費無償化について、財政調整交付金の配分割合を明確にすること。
- 庁用原動機付き自転車は、環境にやさしく安全性も増す四輪の原動機付き自動車へ採用を。
- 区管理の自動販売機設置や学校改築の外構工事は、区内業者育成のため区内業者で発注を。
- 気軽にに行ける大型スーパーやコミュニティ会館等に投票所を増やし、投票率を上げること。
- 共生社会ビジョンの、障害者、外国人含めた全ての人ととも生きる社会を目指すこと。
- 「ともに生きるまちを目指す条例」の反応と合わせ、絵本等を使い周知活動に力を入れること。
- えどがわ未来カンファレンス委員による提案が区の様々な施策に展開されること。
- 広報えどがわは、配布の重複等コストの無駄を省き、団体イベントの掲載等充実した内容に。
- システムの標準化への対応とAI技術等の導入で庁内の環境の効率化・改善を進め、来庁不要な区民目線に立ったサービスの提供を。
- 地域の防災訓練では、規模に応じて訓練内容の情報を地域に発信し、充実した訓練を。
- 大規模水害時の広域避難について、助成対象をより具体的に想定し期待に応えること。
- 設置拡大を進めている防犯カメラについて、区の諸問題に対し、しっかりと柔軟な対応を。

- 太陽光パネル活用の情報を提供し、災害に備え、普及を推進していくこと。
- ごみの分別は身近に誰でもできる活動であり、推進のためのPRと啓発活動を進めていくこと。
- 古着回収事業では本区でリサイクルの推進を。
- 共育プラザでは、ドローン操作やプログラミング等、指導員のもと、夢や希望を追求する力を持てるよう魅力ある活動の推進を。
- 東京2022パラリンピック82競技に加え、デフリンピックの競技も加えること。
- 町会自治会を中心とした地域総合力の向上について、「地域力を高めるコミュニティと人づくり」を中心とした地域を繋ぐ・守る対策を。
- 町会自治会の活動支援のため、町会会館の建て替えや大規模修繕への新たな支援策の検討を。
- 東京湾と河川の漁業資源のある本区で、生業としての漁業権復権を粘り強く求め続けること。
- 区的全窓口にキャッシュレス決済の推進を。



#### キャッシュレス決済の推進について

- 農地農家減少に関して、都市農地貸借円滑法の周知と利用を促進し、農業経営者と低利用農地所有者とのマッチング支援を。
- ボランティアプラットフォームを全域に広げ、地域での共生社会実現のため、更に進めること。
- 災害時要支援者名簿を活用することで、早期に個別避難誘導等の迅速で安全な実施を。
- くつろぎの家の跡地利用は、区民の意見を広く聞き有効活用が図られる施設にすること。
- 介護保険制度維持のため、財政基盤強化と保険負担年齢引き下げ、国の負担割合増を求める。
- 小中学校での手話講座により、障害者への理解と手話の必要性、手話通訳者の育成を。
- 障害者虐待SOS電話が設置されているが、引き続き障害者虐待防止の取り組みを。
- 今後も安全安心な質の高い保育園を目指し、「子育てするなら江戸川区」といわれるよう更なる支援と取り組みを。
- 登園時における母子の安全を考え、区内事業者が開発した第一種原動機付き自転車を求める家庭に助成の検討を。
- 里親、養子縁組、特別養子縁組制度の民法改正を含め、更なる周知と制度の充実を。
- フレイル対策の認知度向上と健康寿命の延伸に向け、引き続きフレイル予防対策の推進を。
- 快適睡眠プロジェクト新設により、区内各所に出向き、一人でも多くの快適睡眠により「笑顔で人生100年」の実現を。
- 若年がん患者在宅療養支援事業について、アピアランス(外見)ケアの助成制度の中に、脱毛した場合のウィッグの助成も含めるべき。
- 子どもの出生率も比較的高いため、公的なさい帯血バンクの利用を可能にすること。
- 利根川、荒川水域の治水の観点から、江戸川、荒川の川床深瀬とスーパー堤防事業の推進を。
- ホームドア未設置の駅への早期設置を。また、人口増で狭くなった葛西駅のホームの拡幅を。
- 環七高速鉄道メトロセブンについて、未来にできる乗り物が開発されることも考え、長期的計画で実現に向け取り組んでいくこと。
- 空き家対策における窓口を一元化し、ワンストップサービスの実現を。
- すくすくスクールでは、今後も更なる地域交

- 流、学びの場、居場所となるよう研究と推進を。
- 外国籍児童の日本語教育支援の取り組みを。
- 給食費無償化は財政的に慎重に取り組むこと。
- 学校統廃合の基本計画に大きな変更がある場合、地域への説明と要望に耳を傾け進めること。

### 公明党



区民を守る生活者優先の施策が実施されたのか、区民が安心して快適に住み続けられるのか、最小の経費で最大の行政効果を挙げたのか等の視点で審査を行った。その結果、本決算の内容は妥当なものとの結論に至り、令和3年度各会計歳入歳出決算を認定する。

#### 【主な要望】

- ふるさと納税について、区の考えやメリットデメリット等の発信強化、公式ホームページからの手続きや寄付先を選択できる取り組みを。
- 区民が日常生活の中でSDGsを理解し取り組めるようにすること。
- 新庁舎建設では、災害対応拠点及び区民サービス拠点としての機能整備の充実と、再開発事業協力者の意見要望を聞き、丁寧に進めること。
- 大規模水害時の対策について、引き続き広域避難場所の確保と、国及び都との綿密な連携を。
- コミュニティ交通の区内各地域での導入推進を。自動運転バス等新しい技術の研究を。
- 住宅耐震事業について、大規模地震に備え2000年基準導入の普及啓発に努めること。
- 高齢者をはじめとする住宅確保要配慮者のため、関係所管とも連携し着実な住まいの確保を。
- 気候変動適応計画を策定し、区民や事業者への周知啓発と、更なる気候変動適応対策を。
- 公園禁煙化の推進や防災倉庫・防犯カメラ設置、総合レクリエーション公園リニューアルは、地域や区民の声を十分に受け止めて推進を。
- 着実な資源回収のため、ペットボトル等回収やリサイクルの工夫、資源化の委託費の検討を。
- 「食品ロス削減推進計画」のもと、区民、区内企業へのPR徹底とフードドライブの有効活用を。
- 共育プラザについて、eスポーツの世代間交流の充実とコースサポートの更なる支援体制の強化を。また、施設の老朽化への対策の検討を。
- バラスポーツは障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しめるよう、更なる環境整備を。
- 街区表示板について、ひらがなの併記を。
- 各事務所の窓口にて、利用者の利便性向上のため、キャッシュレス決済手段を増やすこと。
- 新型コロナウイルス感染症対策の緊急対策融資等の利用事業者の返済は、きめ細かい対応を。
- 商品券まつりやキャッシュレス決済ポイント等、区内経済の活性化に繋がる支援を。
- みんなの就労センターの周知と、就労環境を提供して個々に寄り添った更なる取り組みを。
- 発達相談支援センターについて、篠崎に続き、今後も必要とされる地域に設置すること。
- 障がい者の芸術文化活動について、アール・ブリュット展の本区開催等、環境整備や支援を。
- ひきこもり対策では、一人ひとりのニーズに対応した相談体制と就労支援・居場所づくりを。
- 生理の貧困対策として「OiTr」の更なる普及と、困窮家庭への生理用品の配布を。
- 子育てで選ばれる自治体となるよう、私立幼稚園教諭の人材確保面からも更なる支援を。
- えどがわママパパ応援隊事業は、多様な二

ズに定める在宅子育て支援事業として定着を。

- ヤングケアラーは、子どもの権利条例のもと、子ども本位の姿勢で課題に取り組むこと。
- 新型コロナウイルス感染症対策について、引き続き、区民のいのちと健康を守る力強い取り組みを。
- がん検診の更なる受診率向上に向けて、医師会と協議して進めること。
- 自殺者減少に向け、総合的な自殺防止対策を。
- AP5.1メートルに対応するポンプ所の高潮対策について、今後も都と粘り強い交渉を。
- 私道防犯灯のLED化の推進を。
- 保護者との連絡ツールとしてのタブレット端末活用と、学習支援での適正な活用を。
- 学校給食費の無償化を。
- 日本語教室や放課後にほんご広場の拡充、日本語指導員の確保を。
- 全区立小中学校での放課後補習教室で、一人ひとりに寄り添った指導や、英語の取り組みを。



放課後補習教室について

- 学校図書館の蔵書バーコード化の全校実施を。
- 不登校対策では、教育研究所の体制強化と、学校や関係機関と連携して、支援の充実を。
- 2025年問題に向けた備えのために、ケアマネジャーの処遇改善を含めた人材確保を。

江戸川クラブ

賛成

令和3年度事務事業の行政効果と、会派としての要望事項がどれだけ事業に反映されたかという視点から、審査した結果、令和3年度各会計歳入歳出決算を認定する。

【主な要望】

- 学校改築において、区外業者の入札額よりも高い価格で、区内業者が落札できる区内業者育成のための優先入札制度は検証すべき。
- 地域猫の不妊、去勢手術の一部費用助成について、申請の必須条件である町会長の確認印を無くし、制度利用が進むよう見直しの検討を。
- ベビーシッターの助成等、子育て支援事業の利用を躊躇されないよう、子育て世帯へ広報を。
- 在宅介護の負担は深刻であり、超高齢者社会に向けた重要な課題である。
- 屋上に設置されたプレハブの是正指導について、今後とも指導が行き渡るよう期待する。
- コミュニティバスは無料化の検討を。また、財源はネーミングライツの採用や広告収入により獲得する等、柔軟な発想をもって研究を。
- 都の港湾区域について、港湾区域への編入を求め、都を通じ、国に対し訴えるべき。子、孫の世代を見据え経営企画の観点から検討を。
- 上篠崎一丁目スーパー堤防の早期実現を。
- 学校改築について、毎年3校ずつの改築が妥当か、遅れることは絶対に避けなければならない、地域や保護者には丁寧な説明をすべき。
- 学校と家庭とのコミュニケーションやオンライン授業等、タブレット端末の一層の活用を。
- 上小岩遺跡出土品について、区民による閲覧が可能になるよう、関係者への働きかけを。
- 学童保育事業の預かり開始時刻30分繰り上げや、昼食時の宅配弁当の選択等、保護者の声や他自治体に倣った施策の実施を。

●上履き等の学用品を学校の指定品という誤った認識で購入する家庭もある。何が指定で、指定でないのか明確に保護者に伝わるよう工夫を。



学用品の購入について

●給食費の全額無償化は毎年22億円の財政負担が生じる。子育て世帯が望む支援は他にもあり、限りある財源だからこそ丁寧に検討すべき。

日本共産党

反対

審査にあたり「新型コロナウイルス感染拡大や物価高騰に苦しむ区民の命とくらしを守る立場に立っているか」、「住民福祉の増進のために税金が適正に使われたか」、「区政に民主主義と公正が貫かれたか」、「国の政治にどのような態度をとったか」という観点から慎重に審査した結果、2021年度各会計歳入歳出決算の認定に、明確に反対する。

【主な反対理由】

- 給食費無償化は基金を活用して実施すべき。高齢者の補聴器購入資金補助は、住民税均等割のみの課税世帯は受けられず、要件緩和しない区の姿勢は冷たい。保育従事職員宿舎借り上げ支援事業の対象は、都の基準通り広げるべき。
- 統一協会からの社会福祉協議会や区への寄付について、「慎重に対処」や「当面の間」という曖昧な姿勢ではなく、団体と区との関係を断つことを求めたが、最後まで明言しなかったこと。
- 高台まちづくりは、区民への説明や周知が著しく不足、広く説明の機会を設け住民の意向を反映すべき。高規格堤防と一体の土地区画整理事業の実施を「一体の事業が最も合理的」という区の認識は受け入れられない。耐震シェルター支援を選択肢に加えるべき。
- 消費税減税を国に求めるべき、区の利用料・使用料への消費税転嫁もやめるべき。莫大な税金投入のマイナンバーカード推進に反対する。羽田空港新ルートへの影響は大きく、国に中止を求めない区の姿勢は納得できない。
- 子ども達の学びを豊かにする区独自の教職員配置を行わない姿勢。小1支援員の配置を。学校図書館司書は専門職の司書配置を。特別支援教室で学ぶ子ども達に寄り添う指導を保障するには、巡回指導拠点校の増設と先生の増配置が必要だが、区は必要ないとしたこと。



教職員の配置について

●23区で最も高い国保の均等割保険料は値下げが必要。介護保険料の値上げや、人材確保も不十分なまま今後もケアプラン有料化等、介護の後退は許されない。年収200万円以上の高齢者の医療費窓口2割負担は撤回すべき。

生活者ネットワーク

賛成

誰一人取り残さない共生社会の実現へ、条例

制定や調査等を積極的に行った区の姿勢に鑑み、2021年度各会計歳入歳出決算を認定する。

【主な要望】

- 日光林間学校の跡地は、宿泊施設や自然エネルギー発電等、区民の意見を活かした活用を。
- 農業委員会は、女性の登用を進めること。
- マイボトルの利用を促すボトルディスペンサー型ウォーターサーバーの公共施設への設置を。



マイボトルの利用を促すために

- 常に新しい子宮頸がんワクチンの情報提供を。
- 避難行動要支援者の災害時避難では、地域との連携も含め実践的な個別避難計画の作成を。
- 子どもと女性に不利益とならないよう、出生届や無戸籍に繋がる問題について対応を。
- 上篠崎一丁目北部の土地区画整理事業等について、住民目線による分かりやすい説明を。スーパー堤防整備の方針の見直しを。
- 全校で助産師会や産婦人科医等の専門家と連携をとり、包括的性教育の取り入れを。

えどがわ区民の会

賛成

引き続き、より良い江戸川区の実現のために尽力することを要望し、令和3年度各会計歳入歳出決算の認定に対し、賛意を表明する。

【主な要望】

- 江戸川総合人生大学の卒業生が地域づくりに積極的に参画できるよう、更なる連携強化を。
- 区民館・コミュニティ会館におけるWi-Fi環境の整備を。
- 様々な事情により多量に出たごみ等の対応に追われる業者に対して、一般廃棄物収集運搬業の新規許可を認める等、柔軟な対応の検討を。
- 春江橋架け替え工事では、引き続き地域住民との合意形成を意識し丁寧に事業を進めること。
- 障害者支援ハウスの老朽化に伴い、改修工事や建替工事の検討を具体的に進めること。
- 保育の質が確保されるよう、民間事業所と行政の連携を意識した制度の運用を。



保育の質の確保について

●薬物乱用防止教育では当事者の話を聞き、肌感覚で様々に考える等の機会を。

無所属

賛成

令和3年度各会計歳入歳出決算に賛成する。

【主な要望】

- 障害児の放課後のあり方として、選び取ることができるよう、放課後デイサービスとすくすくスクール・学童との連携を進めること。
- 「地方再犯防止推進計画」は、被害者を生まないためにも、加害当事者を入れて策定を。
- 新庁舎建設において、区民とともに考える場である議員控室は、下の階に設置の検討を。

## 議案等の審議結果

議案の内容はホームページに掲載しています。右記のQRコードからもご覧になれます。



### 全会一致となった議案等の審議結果

※1 提出者から撤回の申し出があった議案です。

件名		結果	件名		結果
区 長 提 出 議 案	令和4年度江戸川区一般会計補正予算(第5号)	可決	区 長 提 出 議 案	職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例	可決
	令和4年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)			職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
	令和4年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第1号)			幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
	令和4年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)			職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(育児休業が取得できる職員の拡大等)	
	令和4年度江戸川区一般会計補正予算(第6号)			職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例	
	令和4年度江戸川区一般会計補正予算(第7号)			職員の高齢者部分休業に関する条例	
	江戸川区議会議員選挙及び江戸川区長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例			江戸川区人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	
	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(育児休業の取得要件の緩和等)			江戸川区非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例			江戸川区事務手数料条例の一部を改正する条例	
	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例			江戸川区子ども医療費助成条例の一部を改正する条例	
	外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例		江戸川区私道排水設備改築助成条例の一部を改正する条例		
	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		契約	東部フレンドホール空調設備改修工事請負契約	同意
	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		同意	江戸川区副区長の選任同意について	
	江戸川区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例		議員提出議案	江戸川区子ども医療費助成条例の一部を改正する条例の撤回について※1	可決

### 意見が異なった議案等に対する各会派の態度 (○…賛成、×…反対)

※2 議長を除く

※3 区長から撤回の申し出があった議案です。

件名		自民	公明	江ク	共産	生ネ	区民	無所属(50音順)	結果	
		14人※2	11人	4人	4人	2人	2人	1人 1人		
区 長 提 出 議 案	令和4年度江戸川区一般会計補正予算(第6号)の撤回について※3	○	○	○	○	○	○	×	○	承認
	江戸川区ひきこもりサポート施設条例の撤回について※3	○	○	○	○	○	○	×	○	
	江戸川区個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	×	○	欠	×	可決
報告	令和3年度江戸川区各会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	○	×	○	認定
議員提出議案	女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書	○	○	×	○	○	○	×	○	可決

### 皆さんから提出された請願・陳情

請願・陳情については、こちら⇒



新たに受理されたもの		付託委員会
128号	全議員及び全会派の政務活動費の支出に係る支払明細書及び領収書等を江戸川区議会ホームページに公開を求める陳情	議会運営委員会
129号	江戸川区議会は厚生労働省に潜在看護師を活用する意見書を提出する事に関する陳情	総務委員会参考送付
130号	介護保険制度の改善を求める陳情	福祉健康委員会
131号	住民に犠牲を強いるスーパー堤防事業は中止し、人に優しいねばり強い堤防の建築を求める陳情	建設委員会
132号	都市計画道路補助第283号線拡幅計画の早期撤回を求める陳情	建設委員会
133号	江戸川区立全小学校・中学校の給食費完全無償化に関する陳情	文教委員会

今回の定例会で取り下げられたもの	
124号	2050年カーボンマイナスを目指すための江戸川区の目標に関する陳情
125号	区民会議設置に関する陳情
126号	エネルギーの自給率アップのための具体策に関する陳情

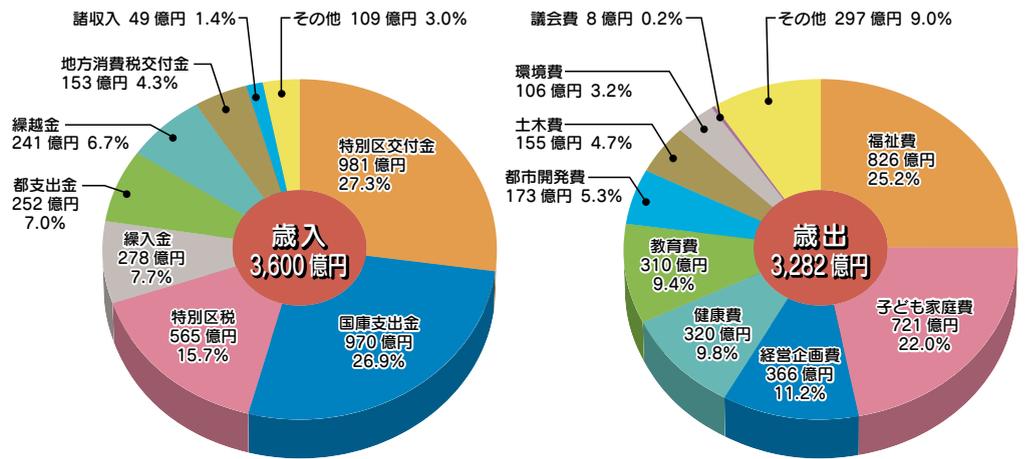
会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、江ク…区議会江戸川クラブ、共産…日本共産党、生ネ…生活者ネットワーク、区民…えどがわ区民の会、無所属…会派に属していない議員を左から50音順に表記しています。

# 令和3年度各会計歳入歳出決算のあらまし

## 一般会計決算の内訳

区分	歳入	歳出
一般会計	3,600億円	3,282億円
国民健康保険事業特別会計	637億円	623億円
介護保険事業特別会計	493億円	475億円
後期高齢者医療特別会計	143億円	141億円

※金額及び構成比は表示単位未満(億単位)を四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。  
 ※歳出を上回る歳入の額は、翌年度の予算に組み入れられ、区民のために有効に使われます。



## 議員から提出された議案

— 意見書は各関係機関に送りました —



### ○女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

〔財務大臣、経済産業大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣(男女共同参画)、デジタル田園都市国家構想担当大臣 あて〕

我が国の国際競争力を高め、生産性を向上させるうえでも「女性デジタル人材育成プラン」の着実な遂行と実現が、日本の発展において不可欠であり、デジタル化が進むことにより、大都市一極集中による人口の過度の偏在の緩和や、感染症等のリスクの低減も図れるとして、大きな期待が寄せられている。

よって、江戸川区議会は政府に対し、地方における女性デジタル人材育成の強力な推進を図るため、本プランの実施・遂行において、自治体規模に合わせた取り組みやすい参考事例を国として積極的に発信すること等を実施するよう強く求める。

詳しくは、江戸川区議会のホームページをご覧ください。

## 決算特別委員会委員 (◎委員長 ○副委員長)

- |         |         |       |
|---------|---------|-------|
| ◎ 須賀 精二 | 神尾てるあき  | 金井しげる |
| ○ 伊藤てる子 | 岩田まさかず  | ます 秀行 |
| 小林あすか   | 間宮 由美   | 笹本ひさし |
| 本西みつえ   | 佐々木ゆういち | 小俣のり子 |
| 伊藤ひとみ   | 太田きみひろ  | セバタ 勇 |
| 田島 寛之   | 野崎まこと   | 竹内すすむ |
| しかくら勇   | 中山たかひと  | 早川 和江 |
| 牧野けんじ   | 大橋美枝子   | 川口としお |

委員定数 18 人 (委員の途中交代あり)

## 総務委員会 主な議案審査内容

### ○令和4年度江戸川区一般会計補正予算(第6号)

#### ・高校生等の医療費無償化の経費について

委員より、高校生等医療費助成準備事業費について質問があり、執行部より、東京都が令和5年度から3年間、子どもに係る医療費の一部助成を高校生相当年齢まで拡大することを受け、その準備を行う。都では、所得制限を設け、自己負担が通院1回につき200円となるよう助成するが、本区では、更に所得制限や自己負担がないよう、必要な経費を区が負担し、医療費無償化を実現していくとの答弁があった。

これに対し委員より、高校生等の医療費無償化は、区に財政的な負担が生じることから、安定した制度として継続できる仕組みづくりを、引き続き都と協議することが要望された。

### ○令和4年度江戸川区一般会計補正予算(第7号)

#### ・中小企業に対するエネルギー価格高騰対策支援の経費について

委員より、中小企業に対するエネルギー価格高騰対策支援について質問があり、執行部より、昨今のエネルギー価格の高騰で区内中小事業者の経済的負担増の現状に鑑み、地方創生臨時交付金を用いて、電気及びガス料金高騰分の3分の1相当を上限50万円の範囲内で支給する。原則、全業種が対象で、区内に主たる事業所を有する中小事業者や区内在住の個人事業主、NPO法人等、約8千事業者を想定し、申請期間は12月1日から2月末までの3か月間を予定しているとの答弁があった。

これに対し、委員より、エネルギー価格の高騰で厳しい経営環境にある中小事業者が漏れなく給付を受けられるよう、その周知方が要望された。

## 区議会ホームページのリニューアル

江戸川区議会ホームページが新しくなりました。本区の特徴である水辺を基調としたデザインで、調べたいものを検索しやすく、誰にとっても親しみやすいものとなっております。また新しいコンテンツとして、子どもにもわかりやすいように「よくわかる区議会」をつくりました。ぜひご覧ください。

### 区議会ホームページ

<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>



## 議場傍聴席に手すりを設置しました 車いす用階段昇降車も導入しています!!

議場傍聴席の段差緩和のための手すりを設置しました。階段の昇り降りの際にご利用ください。また、議場傍聴席には車いすスペース(定員1名)を確保しています。傍聴席までは階段の昇り降りが必要なため、車いす用の階段昇降車も導入しました。詳細は区議会ホームページ、または区議会事務局までお問い合わせください。



■ 議場傍聴席の手すり設置について



■ 車いす用階段昇降車の導入について



## 区議会広報委員会 (◎委員長 ○副委員長)

- |          |         |
|----------|---------|
| ◎高木 ひでたか | ○竹内 すすむ |
| 笹本 ひさし   | 小俣 のり子  |